

平成30年度使用

小学校特別の教科道徳用教科書の 選定に必要な資料

島根県教育委員会

「選定に必要な資料」の観点は以下のとおりである。

観 点		説 明
1	内容、程度、分量等	記述された内容、程度が、児童の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
2	題材の選択や構成等	取り上げられた題材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
3	興味・関心を高める工夫	児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
4	教科の特性、県の実態や課題への適合等	道徳科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。
5	各教科等及び実生活との関連についての工夫	各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
6	その他	観点1～5にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項
総括		観点1～5及びその他についての記述を総合したその教科書の全体的な特徴等

※ 各観点の記述内容についての参照ページは、その特徴を捉えることができるページの一例を示している。

各発行者記号は、次のとおりである。

記号	発行者名	発行者略称
A	東京書籍株式会社	東 書
B	学校図書株式会社	学 図
C	教育出版株式会社	教 出
D	光村図書出版株式会社	光 村
E	日本文教出版株式会社	日 文
F	株式会社光文書院	光 文
G	株式会社学研教育みらい	学 研
H	廣濟堂あかつき株式会社	廣あかつき

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○1年「ダメ」(P43)では、いじめについて考え、最後に明るく前向きな気持ちで終わられるように配慮されている。</p> <p>○1年「かやねずみのおかあさん」(P58)では、多くの挿絵を配置し、場面展開がわかるように配慮されている。</p>	<p>○3年「なかよしだから」(P71)にあるように、中学年以上には、「考えるステップ」という欄に自分の考えを書き込めるようにしてあり、考え議論する道徳を意識した構成になっている。</p> <p>○6年「修学旅行の夜」(P76)等では、場面の切り替えが次のページに設定してあり、道徳的価値への気づきがより印象付けられるように工夫されている。</p>	<p>○4年「1ぴきのセミにありがとう」(P54)では、羽化の連続写真を取り入れ、興味をもって読んでいくことができるように工夫されている。</p> <p>○6年「愛華さんからメッセージ」(P34)では、島根県出身の6年生が書いた本が教材に取り上げられている。</p>	<p>○6年「心を形に」(P10)等では、あいさつなど「ふるまい」について意識できる教材が取り上げられている。</p> <p>○各学年の発達段階に合わせて、情報モラル等の現代的課題を考え、議論できる教材が設定されており、家庭との連携も意識されている。</p>	<p>○3年「ホテルのひっこし」(P62)等では、教材の後に「つながる・広がる」ページが盛り込まれており、他教科の学習と関連付けて考えられるようになっている。</p> <p>○各学年の発達段階に合わせて、巻末には「つながる・広がる」のページがあり、普段の生活と関連付けた資料が設定されている。</p>	<p>○5年P37からP44にみられるように「いじめのない世界へ」の単元が各学年の発達段階に応じた内容の二つの教材を関連付けて構成しており、考えを深められるようになっている。</p>	<p>○教科書の巻頭に「道徳の学習を進めるために」のページを設け、「気づく」「考える・話し合う」「振り返る・みつめる」「生かす」を示し、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。</p> <p>○「生命を尊重する態度」「いじめをなくす態度」「情報モラルを守る態度」等を育てるためのポイントを示すことで、系統的・段階的な指導を見据えたものになっている。</p>
B	<p>○2年「わすれられたしらゆきひめ」(P20)のように、身の回りの物や動物の気持ちを代弁している内容によって、視点を変えて考えることができるように工夫されている。</p> <p>○高学年では、見開き2ページを基本にした分量の内容教材を選択している。また、新しい単元は右ページから常に始まるように配慮されている。</p>	<p>○5年「すれちがい」(P18)では、両者の立場を見開きページで順に比較して考える構成とし、すれ違いが起きる原因を理解できるように工夫されている。</p> <p>○3年「ワールドカップのごみ拾い」(P32)では、外国で見られた集団としての日本人の気持ちの良いふるまいに気づくことのできる内容が取り上げられている。</p>	<p>○4年「心をつなぐ一本のロープ」(P128)では、出雲市で開催されたマラソン大会で、初めての全盲ランナーが誕生した時のことを、その経緯を踏まえて紹介されている。</p> <p>○5年「土俵を造る-土俵築-」(P60)等で、呼び出しや宮大工など児童が普段知り得にくい職業を取り上げ、関心をもたせるように工夫されている。</p>	<p>○2年「かたづけ名人」(P106)では、島根県が取り組んでいるふるまい推進事業と関連した題材が取り上げられている。</p> <p>○「活動」では、学びの方法をマークで示し、様々な学習活動を通して、自ら考えたりを深めたりできるようになっている。</p>	<p>○各学年の発達段階に合わせて、読みものの「コラム」のページがあり、生き方や実生活で心がけていきたい内容が示されている。</p> <p>○5年「みんなで『ありがとう六年生!』」(P144)では、内容・時期ともに学校行事との関連に配慮されており、学習を効果的に進められ、かつ実生活に生かすことのできるものとなっている。</p>	<p>○「読みもの」と「活動」の中で、データやメッセージ、写真等様々な方法で児童の心に働きかけることができるように工夫されている。</p>	<p>○「読みもの」と「活動」の2冊分で構成されており、「活動」では学習の記録を1冊にまとめることができ、個々の変容や学習の深まりを見取ることができるように工夫されている。</p> <p>○「教材」と「発問」を分離することで、児童が発問を見ない状態で、先入観なく教材文の世界に入ることができるように配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
C	<p>○1年「かぼちやのつる」(P14)では、紙芝居風に提示することで、場面や展開を理解しやすいように工夫されている。</p> <p>○全学年に「スキル(やってみよう)」が取り入れられ、実際にやってみたり、その後の思いをふり返ったりできるように工夫されている。</p>	<p>○教材を読んだ後、「学びの手引き」にしたがって考えることができるように構成され、考え・議論する道徳の具現化を図るよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭の「道徳開き」ページで、年度当初の気持ちを記入し、1年間の見通しをもつとともに、巻末のふり返りで自らの成長を感じられるだけでなく、家庭との連携ができるように構成されている。</p>	<p>○3年「気づく心」(P17)では、教材を読む前に、自分の気持ちを見つめるための書き込みページを設定することにより、関心を高めてから教材を読むことができるように工夫されている。</p> <p>○5年「ロレンゾの友達」(P24)では、3人の人物の友達に対する考え方の違いを通して、多様な感じ方、考え方に触れることができ、多面的、多角的に考えられる題材になっている。</p>	<p>○1年「ダメ！」(P56)の学習後には、「スキル」学習を取り入れ、学びを生かすように工夫されている。</p> <p>○1・2年の巻末には、「みにつけよう れいぎ・マナー」のページが設けられており、低学年のうちから身につけておきたいふるまいについて紹介されている。</p>	<p>○4年「プロレスごっこ」(P31)では、教材をきっかけにして、その続きを学級活動で話し合うことが可能な内容となっている。</p> <p>○6年「青い海をとりもどせ」(P32)では、教材を学習した後、「ジャンプ」として役割演技等の活動例が示され、体験的な学習が行われるように工夫されている。</p>	<p>○全学年を通じて、37人の偉人を取り上げ、多くの偉人の生き方・考え方に触れられるようになっている。</p>	<p>○各学年において、1年間の学習を振り返る時間を組んでいる。次学年で頑張りたいこと等を書いたり、家族や先生から、それぞれコメントをもらったりする箇所があり、自分の成長(変容)を感じ取れるように工夫されている。</p> <p>○教材の最初のページが右から始まり、価値と考えることの柱が示され、学習のめあてが明らかになるように配慮されている。</p>
D	<p>○5年「夢を実現するためには」(P6)では、現役プロ野球選手を題材にし、高い志を持ち具体的に努力する内容が取り扱われている。</p> <p>○6年「海のゆりかご」(P57)と「命の旅」(P62)など関連ある内容項目を連続して扱い、学習を効果的に進められるようになっている。</p>	<p>○3年「なごとのからしつもん」(P73)では、2つの場面を設定し、主人公がいっしょに考えることを呼びかけ、考えを深められるように構成されている。</p> <p>○6年「みんなおかしはいよ！」(P52)では、登場人物の言い分を関係図で整理し、考え議論するように工夫されている。</p>	<p>○漫画形式の教材(3年.P9)、迫力ある写真で構成された教材(5年.P60)、一枚絵から考えを促す教材(5年.P81)など、児童が親しみをもてる教材提示について工夫されている。</p> <p>○2年「クラスの大へんしん」(P70)では、2つの挿絵の違いを見つけることで道徳的価値に気づかせるように工夫されている。</p>	<p>○5年「一ふみ十年」(P55)では、人格の否定ではなく、人の行為について考えられる文章表現となっており、道徳的価値に焦点化されるように配慮されている。</p> <p>○3年「あいさつ名人」(P111)では、島根県が取り組んでいるふるまい推進事業と関わりのある内容が扱われている。</p>	<p>○「なんだろう なんだろう」で、児童が実生活とつなげて道徳的価値について考えることができるように工夫されている。</p> <p>○各学年の巻末に、「わたしたちの学ぶ世界」があり、児童が各教材がどのような価値であるのかを確かめることができるようになっている。</p>	<p>○各学年の見返しのページに、それぞれの学年で大切にしたい姿を詩で表現し、6年間を通じた成長の過程をメッセージとして伝えている。</p>	<p>○1年間を4つの学習のまとまりに区切り、「学びの記録」を記入するページを設定し、定期的に自己の成長と振り返りを確かめることができるように工夫されている。</p> <p>○6年「世界人権宣言から学ぼう」(P15)を取り上げるなど、世界共通の人権について考えることができるように配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
E	<p>○標準の35時間分の教材に加え、付録として3～4教材が収められており、児童の実態に合わせ入れ替え、指導できるように工夫されている。</p> <p>○2年「あぶないよ」(P64)では、「いかのおすし」を示し、基本的な生活習慣や規範意識が成長と共に身に付いてきたことをふまえた内容となるように配慮されている。</p>	<p>○各学年で「学習の手引き」や「心のベンチ」として体験的な学習活動が例示されており、児童が体験しながら考えを深めていくように構成が工夫されている。(6年「自分を守る力って?」P112)</p> <p>○「学習の手引き」では、話し合い活動を設定し、考え・議論する道徳の具現化を図るよう工夫されている。</p>	<p>○3年「富士と北斎」(P170)など、写真や絵を全面に使い視覚的な効果を活用し学習できるように工夫されている。</p> <p>○5年「のび太に学ぼう」(P6)では、児童に親しみのあるキャラクターの色々な面を見ることができ、自己の生き方を考えることができるように工夫されている。</p>	<p>○4年「いじりといじめ」(P94)では読み物資料を決着のつかない結末にし、議論したくなるように工夫されている。</p> <p>○3年以上の「心のベンチ」で、「いじめの防止」につながる内容(5年P30)など、読みもの教材とは異なった角度から、児童の見方や考え方を広げるように配慮されている。</p>	<p>○3年「こんなに…!?(P128)では、実生活における身近な例を具体的な絵や数字で表しており、児童が実感を持って理解することができるように配慮されている。</p> <p>○6年「税金ってだれのため?」(p.150)では、社会科での「身の回りの権利と義務」と関連を図ることができるように配慮されている。</p>	<p>○「道徳ノート」が別冊として付いている。題材ごとに自分の感じたことや考えたこと、友達の考えを書く欄があり、多面的に考えられるように配慮されている。</p>	<p>○教科書のはじめに「道徳の学び方」のページを設け、「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」を示し、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。</p> <p>○「心のベンチ」では、教材と関連した内容や活動を例示することにより、道徳的価値への理解を深めることができるように工夫されている。</p>
F	<p>○標準の35時間分の教材に加え、付録として3～4教材が収められており、児童の実態に合わせ入れ替え、指導できるように工夫されている。</p> <p>○3年「電話のおじぎ」(P16)は、児童の生活場面において、おばあさんの姿から、見えない「心」が見えてくる内容となっている。</p>	<p>○もくじを見ると当該学年での独自の重点主題教材を設定し、連続した資料の配置により集中して学習が進められるように配慮されている。</p> <p>○1年「すてきなことば あふたあ ゆう」(P82) 6年「一年生のお世話係-アフターユ-」(P10)では、同じ活動について、学年をまたいで取り上げるように工夫されている。</p>	<p>○6年「世界がおどろく七分間清掃」(P40)など様々な内容項目の資料で日本を題材にしており、自国に誇りをもつことができるように工夫されている。</p> <p>○全学年にオリンピック・パラリンピックを題材とした資料があり、児童が興味をもちやすい教材で学習を進めることができるように工夫されている。</p>	<p>○教科書巻末の内容項目別教材一覧で、関連性のある内容項目が明示しており、多面的に思考を深めていくことができるように配慮されている。</p> <p>○児童が自ら「問い」をもって授業に臨むことができるよう配慮され、下段に「考える」、最後に「まとめる」「広げる」ための視点が提示してある。</p>	<p>○6年「本当にだいじょうぶ?」(P88)では学習後に資料をとおして実生活に生かせるように工夫されている。</p> <p>○5年「海を耕す人たち」(P64)は、水産業の現状を踏まえた内容であり、5年生社会科の「水産業」の学習との関連を図ることができるように工夫されている。</p>	<p>○巻末に「学びの足あと」として授業の記録のページがあり、低学年では絵文字、中・高学年では心の矢印で表現するようになっている。そのことで、児童は自分の成長を実感し、教師は児童の変容を見取ることができるように工夫されている。</p>	<p>○各学年において、重点主題教材を定め、複数の教材を続けて学習することで、道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるように工夫されている。</p> <p>○教科書のはじめに「道徳の学び方」のページを設け、「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」を示し、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
G	<p>○4年「クラスたいこう全員リレー」にあるように対立する意見が本文最後に示しており、自分がどちらの立場なのかを明確にして議論が進められるように工夫されている。</p> <p>○1年「みらいにむかって」(P62)では、1年生の児童にとって分かりやすく書かれた錦織圭の作文を通して、自分のやりたいことに目をむけられるように配慮されている。</p>	<p>○資料最後の「つなげよう」に、友達の考えや家の人の思いを書き込むことで思考の広がりや支援し、考え・議論する道徳の具現化を図るように工夫されている。(5年「日本の『まんがの神様』」P78)</p> <p>○本文より前に主題を入れないことで、児童が自ら課題を見つけることができるように工夫されている。</p>	<p>○各学年でオリンピックに出場し活躍した人物を取り上げ、児童が興味をもって読み進めることができるように工夫されている。(4年「レスリングの女王吉田沙保里」P56)</p> <p>○6年「会話のゆくえ」(P110)では、スマートフォンの画面を用いたり、スマートフォンを使用している様子を写真やイラストで表したりしている。</p>	<p>○いのちの教育を全学年共通の重点テーマとし、複数の内容項目で複数時間使って考えを深めていけるように設定されている。</p> <p>○1年「おかしくないかな」(P42)では、1枚絵からカルタをつくる活動を通して、児童が自ら問題に気付くことができるように工夫されている。</p>	<p>○6年「食べ残されたえびになみだ」(P30)では、社会科との関連が図られると共に、グラフなど資料活用を通して実生活にもつながる内容となっている。</p> <p>○全学年の最終ページに、他の教科等との関連が示されている。</p>	<p>○巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページがあり、児童が自分の成長を感じられる構成となっている。</p>	<p>○教科書のはじめに「マイプロフィール」、おわりに「心の宝物」のページがあり、1冊全体で1年間の成長を感じられるように工夫されている。</p> <p>○いじめ防止に関連した教材として、いじめをテーマに考え議論できる教材(直接的アプローチ)と、他者と共によりよく生きることについて考え議論できる教材(間接的アプローチ)が配置されている。</p>
H	<p>○1年生入学当初の資料はイラストが大半を占め、見開き1ページで完結するように配慮されている。</p> <p>○高学年では資料の文章中の難解な語句に脚注がつき、内容理解を助けるように配慮されている。(5年「はじめての実験-山中伸弥-」P42)</p>	<p>○3年生以上では、巻末に「生命尊重」「共に生きる社会」「情報モラル」にかかわる特設ページを設け、現代的な課題について考えることができるように配慮されている。</p> <p>○6年「夢にむかって」(P58)では、3人のスポーツ選手の夢にむかう姿勢から、3人に共通する心を考え、自分の生き方につなげるように工夫されている。</p>	<p>○5年「章太と孝治」-二つのえがお-P10、6年「章太と孝治」-かモラル」にかかわる特設ページを設け、現代的な課題について考えることができるように工夫されている。</p> <p>○4年「一枚の写真から」(P65)では1枚の写真をもとに、「ぼくの生まれた日」(P97)では漫画をもとに、考える教材を取り入れ児童の意欲を喚起するように工夫されている。</p>	<p>○3年「拾ったりんご」(P107)では、自分の行動や気持ちを振り返ることで、深く考えることを促すものとなっている。</p> <p>○中・高学年では、「学習の道すじ」を手がかりとして、活発な話し合いや自己の生き方について考えを深めることができるように配慮されている。</p>	<p>○2年「お手紙書いたよ」(P42)では他教科と関連させて学習できるように工夫されている。</p> <p>○「道徳ノート」に地域の人や身近な人たちに聞いたことを書き込む欄を設けるなど、家庭や地域社会との連携に配慮されている。</p>	<p>○「道徳ノート」が別冊として付いており、内容項目ごとに感じたこと考えたことを自由に表現できるように構成されている。</p>	<p>○「考えよう・話しあおう」の欄を設け、体験的な学習や読書活動などを通して「道徳的諸価値」への思考を深めることができるように工夫されている。</p> <p>○「道徳ノート」のはじめに「今の自分を見つめて」のページがあり、学習を進める中で、振り返ることができるように配慮してある。</p>